

# 「新しい前進」

会長 三品 優次



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2896回 例会  
プログラム  
米山記念奨学会事業について  
No.2723 10月16日(木)

次週以降の予定  
10月23日(木)モンゴルとの国際交流  
10月30日(木)ガバナー公式訪問  
11月6日(木)講師例会

## 第2895回 例会報告

2014年 10月9日(木)

### 会長挨拶・報告



ロータリーでは今年度、END・POLIO・NOWを掲げ作戦行動中ですが、日本には外に「世界の子供にワクチンを日本委員会」という団体がポリオ根絶あと一歩を合言葉に行動している所を見つけました。1994年この支援団体が設立されております。理事長は、細川護 元首相の奥様で佳代子さんです。この団体は、個人が独自の目標を決めて寄付する「僕のルール」キャンペーンや協力団体から寄せられるペットボトルのふたや古本など資源回収の売却益によりポリオワクチン支援を行い、20年間で10億円以上をユニセフ(国連児童基金)と連携し、支援国へのワクチン調達に充てる様です。ワクチンが調達できても子どもの元に届けるご苦労がある様で、ワクチンは熱に弱いので低温で保管し輸送しなければならず、電気がない所へは保冷箱で運搬する。場所によっては口バで運ぶ。紛争地では迷信や噂で保健スタッフの攻撃の標的にされる。親の理解が不十分で予防接種を拒否される等。日本では考えられないことがたくさんある様です。それでもポリオ根絶の先駆者の日本が今努力を加速させる必要があるとお話していました。ポリオと戦っているロータリーには強い仲間存在を確認することが出来ました。

#### 報告

地区大会へ出席していただいた会員の皆様お疲れ様でした。

### 委員会報告

そらぶち支援特別委員会 竹田 行宏 委員長  
10月12日(日)そらぶちフェスティバル2014において、ガーデン自動湯水装置寄贈お披露目式を行いますので、皆様のご出席をお願い致します。

### 地区表彰伝達式

- ①ロータリー財団メジャードナー表彰  
中垣 陽一 会員
- ②米山記念奨学会メジャードナー表彰  
神部 洋史 会員、中垣 陽一 会員、  
吉田 正治 会員
- ③永年出席100%会員表彰  
25年 佐藤 佳朗 会員、篠島 弘 会員  
15年 石黒 安雅 会員  
10年 小山 進 会員



藤井 照也 会員 ご挨拶  
ご母堂 藤井ルイ子様、葬儀の参列とお手伝いの  
お礼  
クラブへの寄付がありました。

### 先週のプログラム

#### 《職業奉仕委員会担当例会》

#### ～会員卓話～



西田 浩二 職業奉仕委員長  
職業奉仕に関するお話は、会員に  
お願いするべきと考えました。三品会  
長に会長就任から3ヶ月経った中で、  
ロータリーと職業についてお話をして  
いただきたいと思ひます。

#### 「ロータリーと私と職業」



三品 優次 会長  
1905年2月23日、ポール・ハリスの呼びかけにより、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレー、シルベスター・シールの4名でシカゴ・クラブはスタートする。最初のクラブの目的は、1906年1月に、①互いに商売を原価で利用し合うこと(物質的互惠主義)、②知り合いに尋ねられたら会員のところを紹介すること、③異なる業界のノウハウを交換すること(精神的互惠主義)と定められたが、ドナルド・カーター事件(特許弁理士のドナルドが、そんな利己的な会は意義なしと、第2代会長アル・ホワイトの勧誘を断った)にショックを受けたポール・ハリスは、クラブの目的にシカゴ市のためになることをしようという項目を追加して、とりあえず市内25の団体をとりまとめ、シカゴ市に要請して2年間かけて公衆トイレを作ることに成功する。しかしながら、第五番目のロータリアンとして知られているハリー・ラグルスはもともと地元シカゴのノースウェスタン大学出であるために多くの会員をクラブで紹介してきたのであるが、このポール・ハリスの方針転換には全く賛同できず、シカゴ・クラブはポールを代表とする「拡大・奉仕派」とハリー・

ラグルスを中心とする「親睦・互惠派」に真っ二つに分かれ、激しく対立することになる。丁度そんな時に、1908年1月、ハリー・ラグルスの紹介で入会してきたのがアーサー・フレデリック・シェルドンである。彼は、母校であるミシガン大学経営学部で習得したミシガン学派の「サーヴィス」という考え方をポールに紹介し、ポールも正に「渡りに船」とばかりにシェルドンと意気投合し、クラブ第3代会長であったポールは、自薦により強引にクラブ4代目の会長に就任し、入会したばかりのシェルドンを情報・拡大委員長に大抜擢する。すなわち、1908年1月、シェルドンの入会と共にロータリーに初めて「サーヴィス」の概念が導入されることになる。そのミシガン大学の理論とは、要するに20世紀初頭、800年に亘る身分制社会が崩壊し、職業を自由に選択することができる世の中になったが、同時に産業革命の更なる発展と科学技術の著しい進歩により、物が大量に生産されて市場に溢れ、その担い手が商人であり、彼等は膨大な富を得て現代社会のリーダーとなる宿命を背負うことになる。それ故今までのように商人は儲かるだけ儲けてもいいのだということになれば、現代社会は後世に拭い去ることのできない汚点を残しかねない危険性をはらむことになる。その解決策として、商人たちの経営管理の場に「利己と利他の調和」を中核とする、一つの哲学理論が必要であると説く。その偉大な原則「利己と利他の調和」とは、シェルドンが母校で学んだミシガン学派の理論であり、すなわち商取引においては、商人も利益を得て物心両面の幸せを得ることができるが、顧客も商人と取引を行ったために物心両面の幸せを得ることができるというものではないとせねばならないとするもの。ミシガン学派の学者はこの「利己と利他の調和」の達成を願って営まれるすべての行為を、その背後の心の世界で規律する境地のことを彼等は「サーヴィス」と呼び、「サーヴィスの心」の会得こそが肝要なことであるとする。すなわち、今日のロータリアンたちが漠然と「奉仕」という概念を他社に対する慈善行為などであろうと推察しがちだが、ロータリーで言う「奉仕」とは「サーヴィス」のことであり、「利己と利他の調和」のことを言う。

## 「LPガス業界の置かれる環境や 注目の話題について」

社業であるLPガス業界を取り巻く環境や話題についても、触れさせて頂きます。

### ●LPガス業界を取り巻く環境

さて、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、今年の4月11日にエネルギー基本計画が閣議決定されました。この新しいエネルギー基本計画は、政府が「安全性」、「安定供給」、「経済効率性の向上」、「環境への適合」という、4つのエネルギー基本政策の方針に則り、我が国のエネルギー政策の方向性を示したものであります。この計画の中でLPガスについては、「ミドル電源」(発電コストがベースロード電源に次いで安く、電力需要の変動に応じた出力変動が可能な電源)として活用可能であり、また、末端消費者への供給体制・備蓄制度が整備され、可搬性・貯蔵の容易性に利点があることから、平時の国民生活や産業活動を支えるとともに、緊急時にも貢献できる分散型のクリーンなガス体のエネルギー源として位置づけられており、「エネルギー

の最後の砦」として明文化されました。

一方で、電力・ガス自由化の議論も着々と進んでおります。これから電力の小売全面自由化が始まる2016年、また、ガスの小売全面自由化が始まるとされている2017年には、LPガス業界も一つの転換期を迎え、その影響が以後3～4年で顕在化し、東京オリンピックが開催される2020年頃には優勝劣敗が表面化するとさえ言われており、LPガス業界は今まさに、このエネルギー社会におけるその役割と将来を大きく左右する岐路に差し掛かりつつあると言っても過言ではないでしょう。

### ●米国産LPガスとパナマ運河について

このような転換期を間近に控える中、LPガスの「コスト競争力」強化が業界内でも望まれており、新聞等でも取り上げられている米国産シェールガスに注目が集まっております。

元来、国内で使用するLPガスは、その9割近くをサウジアラビアやカタールなどの中東産油国からの輸入に頼っていました。しかし、近年ではLPガス輸入における地政学的リスクの軽減や単一で高止まりが続く中東産LPガスの輸入価格抑制を目的とし、北米産シェール随伴LPガスの輸入量を年々増加させています。2013年度の国別輸入実績から申し上げますと、米国産LPガスの割合は約9%と全体の1割弱ですが、2年前(2011年度)と比較するとその輸入量は約7.5倍に増加しており、中東産LPガスの輸入割合を約76%まで低減させております。

北米産シェール随伴LPガス輸入量については、今後も増加することが予想されているため、日本のLPガス輸入量の中で一定のシェアを確保することができれば、産ガス国間で価格競争が生じ、LPガス輸入価格(原料コスト)の低廉化に繋がるものと期待されております。

この後、滝川の歴史について明治22年以降の卓話がありました。



### 神部 洋史会員

米山記念奨学会のメジャードナー表彰を受けて。

### 中垣 陽一会員

地区大会で米山・財団の表彰を受けて。

### 篠島 弘会員

25年100%皆出席賞で表彰されて。

### 佐藤 佳朗会員

25年100%皆出席賞で表彰されて。

### 小山 進会員

10年間100%皆出席で賞をいただいて。

### 三品 優次会員

貴重な時間の大半を使わせていただいて。

### 西田 浩二会員

担当例会を終えて、三品会長ありがとうございました。

会長／三品 優次  
幹事／深澤 和範  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16  
TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。